

## 1

## 自由民権運動のおこり

せきようしゃ  
「石陽社」をつくる

写真の人物は、河野広中  
 といって、三春町に生まれ  
 1874年(明治7年)に石川の  
 区長になった人です。

日本には、それまで国会や憲法があり  
 ませんでした。広中は、国民ひとりひと  
 りの願いが政治に生かされる民主主義の  
 国をつくろうと考え、政治団体の「石陽  
 社」をつくり、本社を石川町に置きまし  
 た。国会や憲法をつくることをよびかけ  
 る運動を自由民権運動と言っていますが  
 この運動が日本全国に広まって、国会や  
 憲法がつくられるようになったのです。

町の人々も数多くこの運動にかかわり  
 日本の民主主義の基礎をつくる大切な運  
 動が石川町から全国各地に広がってい  
 きました。石川町が「自由民権運動発祥の  
 地」と言われるのは、そのためです。町  
 役場前には、河野広中のレリーフ像も建  
 てられています。

自由民権運動とい  
 うのは、どんな運動な  
 だろう。



区長時代の  
河野広中



「石陽社」記念ひ

せきそんやまこうえん  
 石尊山公園にいくと、  
 大きな石ひがたっている  
 わ。

